



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報 THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル  
〔会長〕伊藤 和夫 〔幹事〕石井 慎一 〔会報委員長〕廻 辰一郎  
〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2015-2016年度

## 第2541回



平成28年5月20日(金)点鐘12:30 《曇り》

- \*ロータリーソング『我等の生業』
- \*四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

### \*\*\* お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー  
千葉市美術館 館長 河合 正朝様
- 千葉ロータリークラブ 藤澤 武彦様

### \*\*\* 会長挨拶及び報告 伊藤 和夫会長

先日、森永卓郎氏の講演を聞いてまいりました。森永氏は、RIZAP(ライザップ)をやり、2カ月で20kgの体重を落としたということでしたが、糖質を摂らないという食事療法で頑張ったとのことでした。目もこのままだと見えなくなると言われていたのが健康的な目に戻ったということでした。食べ過ぎは良くないですね。

28日(土)～30日(月)は、ソウルで開催される国際大会へ参加してきます。28日には、親交クラブの東仁川ロータリークラブとの合同例会を行います。その際、東仁川ロータリークラブと共同で行ったグローバル補助金で支援した再活協会の施設を訪問してまいります。

熊本地震災害義捐金の件ですが、先日の理事会にて一人当たり1,000円の拠出をしたのですが、その他にも寄付をしたいという方がおられました。本日、ボックスを回しますので、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

### \*\*\* 委員会報告

◇会員増強記念バッジ贈呈(RIより)伝達  
花澤 衛会員

◇親睦活動委員会・趣味の会(清水清子会員)  
野球観戦(千葉ロッテマリーンズ対北海道日本ハム)  
日時⇒平成28年8月3日(水)14:50集合  
場所⇒QVCマリンフィールド  
会費⇒5,000円  
是非ともご参加下さい!

### \*\*\* 幹事報告 廻 辰一郎副幹事

◇市川南RCより、創立40周年記念例会開催のご案内  
日時:7月16日(土)16:00点鐘  
会場:浦安ブライhtonホテル  
出席ご希望の方は、事務局までお申し出ください。  
◇5月27日(金)の例会は、28日～30日の国際大会へ変更となりますのでありません。

### \*\*\* ニコニコボックス報告

#### 《伊藤 和夫会長》

千葉市美術館長、河合正朝様、お忙しい中をお越し下さり、有難うございます。本日の卓話、宜しくお願い申し上げます。

千葉ロータリークラブ・藤澤武彦様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

#### 《江沢 一男会員》

千葉市美術館長・河合正朝様、今日の卓話、宜しくお願い致します。

#### 《北原 俊彦会員》

各テーブルにバラの写真を置いてあります。私の数多い趣味の一つでバラを中心として花を育てています。今は、このバラが一番、手間暇がかかりますが楽しんでいきます。バイクなどに乗り、走り回っているイメージが私に定着しているようですが、この庭を見て貰えれば私のがさつでごついイメージが払拭できるかも知れません。期待しています。

#### 《出井 清会員》

網膜剥離の手術を受け、戻って参りました。飛蚊症が出たら気を付けて下さい。

本日のニコニコボックス	6,000円	累計	260,000円
金の箱	180円	累計	17,672円

### \*\*\*出席報告 (会員数54名)

出席者数34	欠席者数20	ビジター 2	修正出席率 次回にて
--------	--------	--------	------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	6/21・6/28	センシティブタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	6/14・6/28	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	6/8・6/22	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	6/9・6/30	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	6/23・6/30	京成ホテルミラマーレ

## 《本日の卓話》

演 題⇒ 「美術の楽しみ方  
千葉市美術館所蔵品を通して」  
卓話者⇒ 千葉市美術館 館長 河合 正朝様



◇生誕140年「吉田博展」のご案内がありました。

吉田博（明治9年～昭和25年／1876-1950）は福岡県久留米市の生まれ。京都の地で三宅克己の水彩画に感銘を受け、以来本格的な洋画修業を始めました。明治27年に上京して不同舎に入門、小山正太郎のもとで風景写生に励んで技を磨きます。明治32年には中川八郎とともに渡米、言葉もままならない異国で自作を大いに売って生活の資を得るといふ快挙をなし、アメリカ各地からロンドンやパリを巡って明治34年に帰国しました。以後も外遊を重ねて東西の芸術作法を見つめ、内外の風景に取材して水彩画や油彩画を発表、太平洋画会や官展を舞台に活躍を続けました。

とりわけ高山を愛し、常人の足の及ばぬ深山幽谷に分け入ることで描いた作品は、新たな視界や未知なる美を発見した驚きと喜びに満ちています。大正後期からは彫師・摺師と組んだ木版画に軸足を移し、伝統的な技術に洋画の表現を融合したかつてない精巧・清新な造形で国内外の版画愛好家を魅了し続けました。

吉田博は生涯、世界における自らの位置を考え続けた画家といつてよいでしょう。その思考の跡が、湿潤な日本の風景をみずみずしく描いた水彩画であ

り、雄大な自然美を登山家ならではの視点からとらえた油彩画であり、浮世絵以来の技術を新解釈した木版画でした。比較的早くに評価の定まった白馬会系の絵描きたちに比し、長く埋もれてきた感のある博の画業は、今の私たちにとってどう映るのでしょうか。「絵の鬼」と呼ばれ、水彩で、油彩で、木版画で世界に挑み続けた画人の「これが日本人の洋画だ」という答え。生誕140年を記念し、代表作に初公開の写生帖などをあわせた300点超の作品からなるこの大回顧展で、とくにご覧ください。

◇「ふたつの柱」のご案内がありました。  
展示期間：6月1日（水）～6月26日（日）

千葉市美術館のコレクションの「ふたつの柱」ともいえる江戸絵画と現代美術を合わせて展示されます。

展示室では、現代美術、江戸絵画をそれぞれのセクションでご覧いただいたあと、風景をテーマにしたもの、モノクロームの作品、私たちを取り巻く日常を題材にとるものなど、いくつかのテーマに沿って、江戸絵画と現代美術を同じ空間に取り合わせ、お楽しみいただきます。

普段並ぶことの少ない作品同士の競演によって、時を経て大きく変化した美術のかたちを感じていただくとともに、その中でなお変わらないものを考えたり、意外な共通点を見つけたりと、様々な切り口からコレクションを眺めます。

雨の季節、美術館に散歩に出かけるようなくつろいだ気持ちで、作品との出会いをお楽しみ下さい。



### 第2542回例会

《ロータリー国際大会(ソウル)》  
《東仁川ロータリークラブとの合同例会》  
日 時⇒ 平成28年5月28日(土)

### 第2543回例会

日 時⇒ 平成28年6月3日(金) 点鐘12:30  
卓 話⇒ 会員ミニ卓話

<会報当番：廻 辰一郎会員>